



9月議会

日本共産党代表質問

上原安夫・西中間久枝市議が行う



質問する上原安夫市議

米兵による蛮行なくすために
抜本対策は米軍基地撤去

日本共産党の上原安夫、西中間久枝両市議は9日、代表質問に立ちました。上原市議は、在沖米海兵隊員が6月に成人女性に性的暴行を加え、けがを負わせる犯罪をまたしても起こしていたことが発覚したと指摘。「米兵による卑劣な性犯罪をなくすた

めの実効ある抜本対策は、米軍基地撤去、米軍の撤退しかない」と強調しました。

西中間市議も米兵の卑劣極まる犯罪を糾弾した上で、県女性団体連絡協議会が同市と市議会への要請で県議会や市町村議会、県内自治体が一丸となった県民大会の開催

を強く求めていることに言及。「全県民が超党派で心ひとつに取り組むべきです」と迫りました。

那覇市で、知念市長の選対本部長を務めた自民党前議長が5千万円の賄賂を受け取った事件、関わった市議の関

与の解明が求められていること。国政では、岸田首相が退陣表明をし、総裁

選挙が行われている中、裏金事件は自民党ぐるみの組織的犯罪であると糾弾

8月にも自民党の参議院議員が公設秘書の給与と退職金を国からだまし取つ

たとして、詐欺罪で在宅起訴、衆議院議員は、選挙区内の有権者に違法な香

典を提供した公職選挙法違反と政治資金規正法違反で略式起訴されたことを

指摘、この4年間で政治とカネ問題で13人も自民党議員が起訴されているこ

と、こんな自民党から推薦を受けている知念市長の姿勢をただしました。政

治とカネ問題の解明に背を向け、市民の安全なくらしに背を向ける市政の転

換が強く求められています

学校給食費の無償化について

来年度県の2分の1補助で

中学生月額5千円、年額5万5千円が半分の27500円の負担減に

学校給食費の無償化については、来年度から県が2分の1を補助することについて、那覇市の場合、中学生の学校給食費は、月額5000円で8月を除く11ヶ月の保護者の負担は、年額55000円から、半分の27500円の負担減になること、県の補助は、保護者が負担する給食費の減額のみで充てることが明確に示されていると答弁。上原市議は市に対して全額無償化をすべきと求めました。

